

<b>組 織</b>	・会 長	加賀谷 政広	(岩見三内小・中)		
	・副会長	鎌田 悟	(秋田北中)		
	・事務局	菊地 有希子	(日新小)	渡部 英明	(勝平小)
		佐藤 一彦	(秋田南中)	中尾 裕子	(御所野学院中)
	・幹 事	横山 雄一郎	(旭北小)	村山 祥子	(勝平小千秋分校)
	・会 計	佐藤 廣子	(勝平中)		

### 主な事業

美術鑑賞研修会 「DENMARK :  
DESIGN」展  
(秋田市千秋美術館 / 5月15日)

大森山動物園  
第41回 親と子のふれあい写生大会  
(大森山動物園と共催 / 7月20・21日)

秋田県児童生徒美術展 秋田市審査  
(泉中学校 / 12月15日)

クロッキー巡回展 : 市内各小学校  
(審査 : 桜小学校 / 12月27日)

### 研究会の記録

○全市一斉授業研究会 (小学校) 11 / 13 (水) 日新小学校 中村 紀幸 先生  
題材名 「TENSAI! ピクトグラム ～わたしたちのまち 新屋の魅力を伝えよう～」 (4年生)  
ピクトグラムという表現技法を用いて、自分たちの住む地域である新屋のよさ(魅力)を表現しようという授業であった。

オリンピックで使われたピクトグラムを参考に、テンプレートを使いスポーツピクトグラムを創る活動から始まり、新屋の特徴や自慢の場所・店などをイメージマップで思い浮かべながら、絵やスケッチを単純化して表すなど、本時に至るまでの学習の積み重ねがよく分かった。

本時では、単純化した表現につなげるために、大きさの制限(10cm四方の枠)や、色の制限(一色だけ選ぶなど)を設定するなどして子どもたちの表現意欲の向上に配慮していた。また、雲形定規を活用し表現の幅を広げたり、鑑賞にICTを活用したりするなどの工夫がなされていた。やりたいことが明確で、学習の見通しがもたれていたことが、興味を持続し集中して制作する子どもたちの姿に結びついていた。また、同じテーマでも、個々に違う表現をしていたことも大変興味深かった。

いずれにしろ、教師の「こんな力をつけさせたい」という強い思いが感じられる素晴らしい授業で、作品の完成が楽しみである。

○秋田市クロッキー巡回展 審査 12 / 27 (金) 桜小学校



12月27日に、桜小学校にてクロッキー巡回展の審査が行われた。入賞作品は、秋田市内の小学校を巡回する。全ての小学校が7ブロックに分けられ、ブロックごとに審査を行うのであるが、入賞は各学年の出品点数の25%程度と、審査には難航する。入賞作品の選出は教師間で話し合いを重ねながら決めていくのであるが、教師にとって、作品を観る目を養う有意義な研修の場にもなっている。

